

河川の情報を直接提供する仕組み(=ホットライン)の今後取組方針について

～ 地域防災力の向上のための連携強化 ～



令和 5年 6月
青森県 県土整備部 河川砂防課

ホットラインの経緯・経過

- 背景：H28.8 台風10号 岩手県小本川洪水によって 福祉施設【楽ん楽ん】を含む 死者20名
 - 避難指示の遅れ（河川管理者が、市町村長に対して河川の状況を伝達する事が重要）
 - H29.2 国交省から都道府県へ【ホットラインの構築】を働き掛け
 - H29.7.7 「青森県河川におけるホットラインの当面の運用について」

○ホットラインとは

市町村長が行う避難指示等の発令判断を支援するため、河川管理者から、必要に応じて河川の状況、水位変化、今後の見通し等を市町村長等へ直接電話等で伝える仕組み

- 県水防計画（知事：本部長）では、「必要に応じて、ホットラインを行う」とされている。

○ 現状：運用当初【地域整備部長 → 各市町村長】へ直接電話し、各市町村が避難情報を発表

- 近年、市町村防災担当者の防災技術力の向上

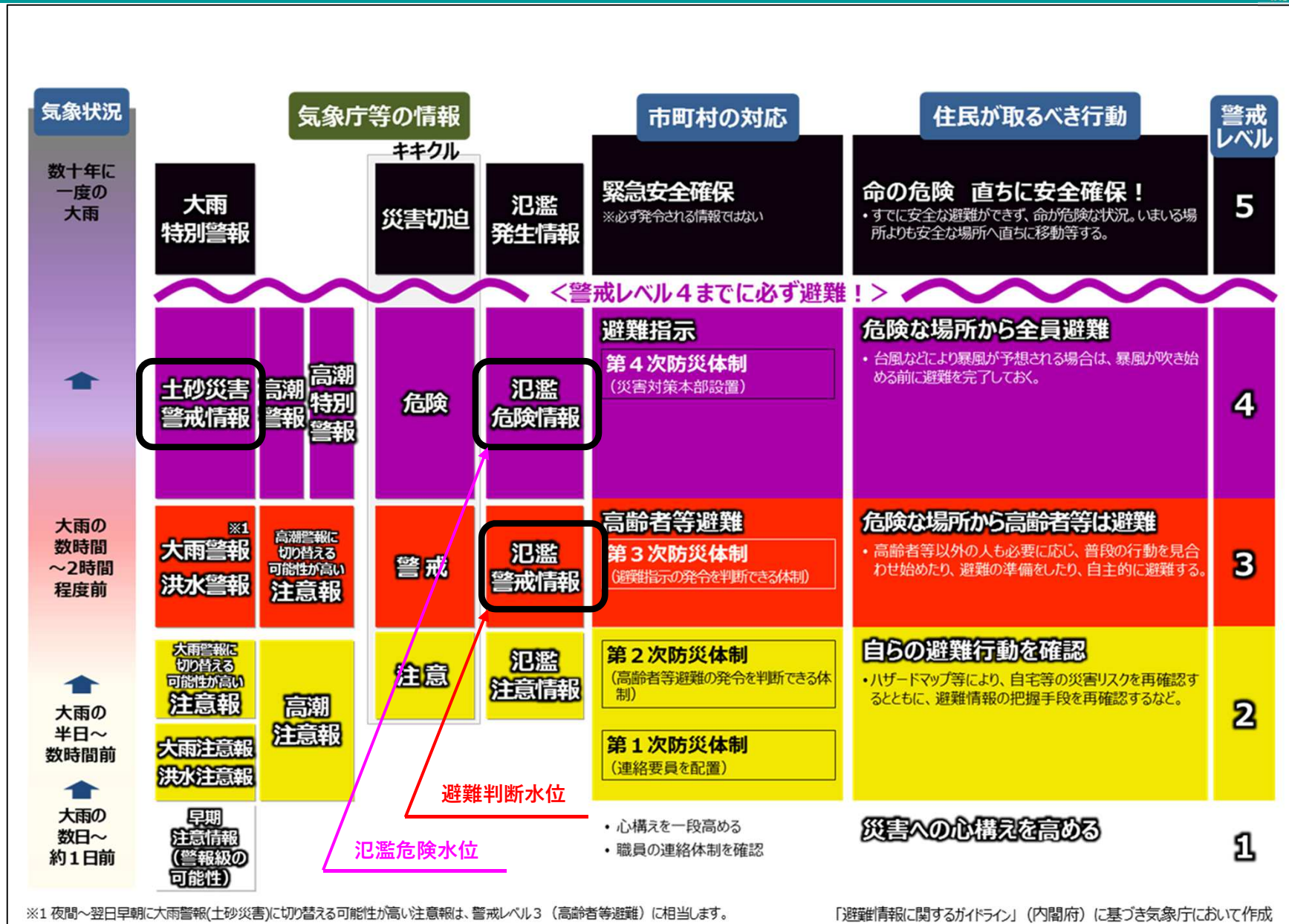
- ※ 市町村防災担当者 → 状況報告 → 各市町村長 → 避難指示

- 【5段階の警戒レベルと防災気象情報】 → 市町村の対応や住民が取るべき行動を示していること

○ 基本事項

避難指示等を決定する市町村長が、その洪水等の状況を把握することが重要かつ同時に実務者レベルでの情報共有が重要

5段階の警戒レベルと防災気象情報



今後の取り組み方針(案)

現状：近年の豪雨災害の激甚化 → 全国で頻発化

地域住民の命を守る



県及び市町村実務者の連携強化

- 河川水位・土砂災害警戒情報共有
- 平常時より顔の見える化の推進

迅速な避難指示の発表

某地域整備部でのホットライン伝達方法例

○ 1 洪水時のホットライン

地域整備部河川砂防施設課（河川管理者）から 市町村防災担当者への情報提供

→ 洪水時の河川状況、今後の見通し及び氾濫した場合の影響等

○ 2 土砂災害警戒情報時のホットライン（→ 警戒情報発表は、避難指示の補完情報）

→ （必要に応じて）市町村防災担当 → 地域整備部河川砂防課へ雨量・土砂災害の状況・対応等

○ 3 但し書き

「急激な河川の水位上昇もしくは明らかに避難指示等が必要な場合、さらに、隣接市町村での出水被害が発生した場合等の情報提供は、地域整備部長から市町村長へ直接電話」

過去の出水状況（水防経験的知見）

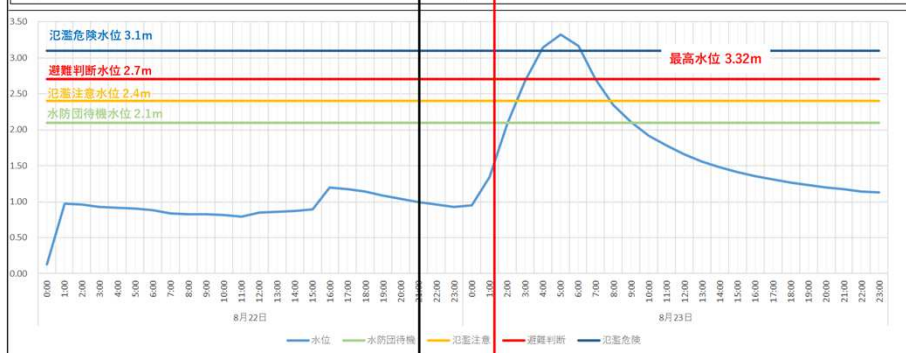
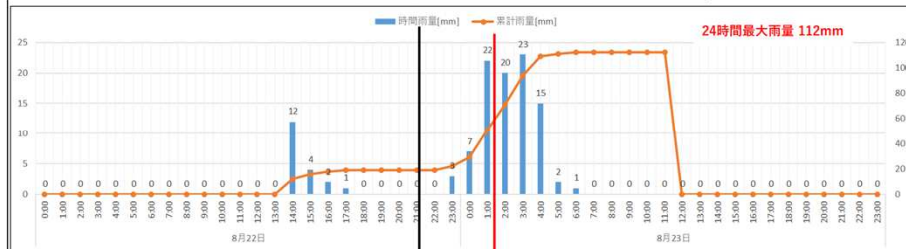
平成29年8月22日～23日にかけての大雨時の河川水位・降雨状況

水位&雨量グラフ

観測局				
雨量局	局名	鹿橋	所在地	東通村大字蒲野沢字新橋
水位局	局名	鹿橋	河川名	田名部川
	所在地	東通村大字蒲野沢字新橋	所轄	下北地域康民局

2017年8月22日(火)				2017年8月23日(水)			
時	水位	時	水位	時	水位	時	水位
00	0.13	12	0.85	00	0.95	12	1.66
01	0.97	13	0.86	01	1.34	13	1.56
02	0.96	14	0.87	02	2.08	14	1.48
03	0.93	15	0.89	03	2.68	15	1.41
04	0.92	16	1.20	04	3.14	16	1.35
05	0.90	17	1.18	05	3.32	17	1.31
06	0.88	18	1.14	06	3.16	18	1.26
07	0.84	19	1.09	07	2.70	19	1.23
08	0.83	20	1.04	08	2.34	20	1.20
09	0.83	21	1.00	09	2.11	21	1.17
10	0.81	22	0.96	10	1.92	22	1.14
11	0.79	23	0.93	11	1.78	23	1.13

警戒基準	
氾濫危険水位	3.10m
避難判断水位	2.70m
注意水位	2.40m
水防団待機水位	2.10m



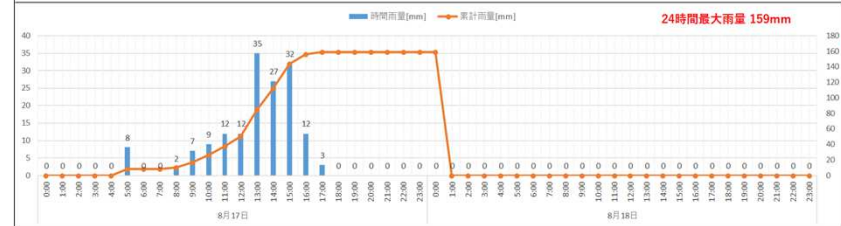
22日21:00頃 田名部地区、小目名地区で避難勧告
 23日1:10 土砂災害警戒情報発令

2017.8.23 1:10
 土砂災害警戒情報発令

2017.8.22 21:00
 避難勧告発令

H28.8.17 (台風9号) 降雨及び土砂崩れ状況

観測局				
雨量局	局名	下風呂	所在地	風間浦村大字下風呂字落ノ上



H28.8.29～30 (台風10号) 降雨及び土砂崩れ状況

観測局				
雨量局	局名	易国間	所在地	風間浦村大字易国間字八森山

